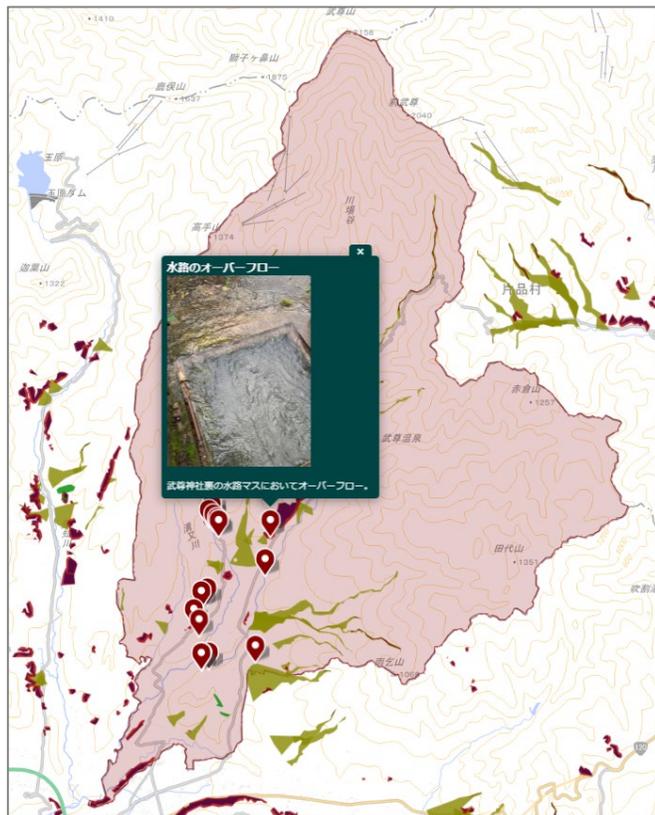


# 活用事例 1 : 台風被害状況の情報集約

## 【導入後】

現地で撮影  
その場でアップロード



- ・ 対策本部に状況写真と被害場所が共有され、的確な状況判断が可能
- ・ 庁舎内での写真と地図の統合作業が不要
- ・ ハザード情報との複層表示も可能

## 【従来】

現地で撮影

電話でおおよその  
位置情報連絡

庁舎に戻り写真と  
地図の手作業に  
よる統合作業



- ・ 被害状況箇所により複数枚の資料となり俯瞰性が低い
- ・ ハザード情報等は、別資料を準備する必要がある